

歩こう～歩こう～♪

秋葉山ウォーク

2月14日(日)香我美町西川地区活性化推進協議会主催の「秋葉山ウォーク」が行われました。登山道は途中急な所もありましたが、地域の皆さんにより整備されており、約1時間で登頂することができました。

また、この日は旧正月にあたることもあって、古くから火伏せの神様として知られている秋葉神社では旧正月大祭が執り行われ、鎮火と家内安全を祈願する市内外からの参拝者が訪れていました。神事の後には恒例の「餅まき」も行われ、大勢の人で賑わっていました。



待ったけど舞わざった

旧正たこ凧揚げ大会

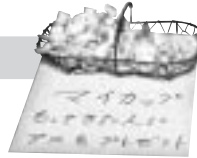


2月14日(日)野市ふれあい広場で、野市町土佐凧保存会主催の「旧正凧揚げ大会」が行われ、親子連れなど約1,000人の観客は、凧から景品引換券をばらまく「トバシ」などを笑顔いっぱい楽しみました。

目玉は、何といても「百畳凧」。朝からほとんど無風状態で、揚がるかどうかやきもき。神風が吹くことを期待しながら準備を進め、チャレンジするも全く浮かず、結局断念。お披露目された凧の前に「来年こそは揚がってよ」と願いを込めました。

エコ応援団

野市小学校「エコ祭り」



2月6日(土)野市小学校で「かかわろう!つなごろう!のいちのエコまつり」と題したイベントが開催されました。運動場にはたくさんの出店が並び、体育館舞台ではさまざまな発表や上映が行われました。

冷たく強い風が吹く中、マイ箸、マイ皿、マイバッグを手にした保護者や近隣住民が大勢訪れました。

会場では、元気な声で来場者呼び込む児童生徒や、ペットボトルで作られた風車を手に駆け回ったり、間伐材で作られたボーリング体験などに大はしゃぎする子どもたちの姿が多く見られました。



1年無事に過ごせますように

どんど焼き



1月17日(日)香我美町岸本海岸で、正月の縁起物を燃やし無病息災を祈る「どんど焼き」が行われました。正月に飾った門松やしめ飾りなどを手に、地区内外から約150人が訪れました。神事の後、やぐらに火をつけ、中に入った正月飾りが燃えるとともに「どんどん」と竹がはじける音や、来場者は辺りを漂う煙をあびながら、今年1年の健康や安全を祈願しました。

また、地元婦人会によるお汁粉が振る舞われ、寒風に揺れる炎の周りに、にぎやかな声が響きました。

命・愛・人権

第27回赤岡町解放のまつり

2月21日(日)「人権尊重のまちづくりの実現をめざして」をテーマに第27回「赤岡町解放のまつり」が赤岡市民館で開催されました。第1部は、人権クイズや異年齢での万華鏡づくり等が行われ、第2部では「ことばの持つ力を信じて」と題した呉静恵さんによる講演が行われました。呉さんは、「言葉の使い方や相手と大切にすることも傷つけたりすることもできる。言葉づかいは、心づかいである。また、時間を使うということは命を使うということでもあり一瞬一瞬を大切に生きて行きましょう。」と参加者に呼びかけられました。



トップアスリートの技を学ぶ

KSCソフトボールフェスタ



2月20日(土)香我美運動広場で、男子ソフトの日本リーグチーム「高知パシフィックウェーブ」が、同町の小中学生約30人にソフトボール教室を開催しました。キャッチボールや守備、打撃、ピッチングなどの基本動作を指導。「投げる時は、腕を肩より上に持ってきて」「バッティングは、目の高さを変えずにしっかり腰を回すことが大事」などとアドバイス。参加者は「ちょっと上手になった気がする」「もっと練習して選手たちのようにうまくなりたい」と目を輝かせていました。

読書の楽しさ伝えます

全国読書フェスティバルin香南



1月24日(日)のいちふれあいセンターで「全国読書フェスティバルin香南」が開催され、北は岩手・南は鹿児島からと全国各地から延べ2,500人が来場しました。

第一部では、佐川町出身で「ファイナルファンタジーXIII」の Snow 役などゲームやアニメで大活躍中の人気声優・小野大輔さんが宮沢賢治の「よだかの星」を朗読し、その美声や、役に合わせて声を使い分けた情感あふれる演技に、目を潤ませる女性の姿も見られました。

第二部では「となりのトトロ」主題歌などで人気の歌

手・井上あずみさんによる読み聞かせと、スタジオジブリ映画作品のテーマソングコンサートが開かれ、歌に合わせて手拍子をしたり踊ったりする子どもの姿もありました。

第三部では「読書が子どもたちの創造性と表現力をはぐくむ」というテーマでパネルディスカッションが行われ、熱心な意見が飛び交い、読書の楽しさを再認識し、満喫した1日となりました。

